

2017 年度大学院国際社会開発専攻オープンセミナー（相談会付） 開催のご案内

JOCV 青年海外協力隊はじめ海外での開発経験への単位認定を始めます

このたび、日本福祉大学大学院国際社会開発専攻（修士課程・博士課程）では、以下の日程でオープンセミナーを開催します。
どなたでもお気軽にご参加いただけます。事前予約は不要ですので、当日会場にお越しください。

各講演の後に、大学院国際社会開発研究科の入学説明相談会を開催いたしますので、ご関心のある方はぜひそちらも併せてご参加ください。
本研究科では、2018 年度入学生より、青年海外協力隊はじめ海外での開発経験に対する単位認定を始めます。この件もご説明します。

7月22日（土）午後1時から 日本福祉大学東京サテライト

岡本真理子教授「インドにおける医療保険制度の普及と医療産業の課題」

<終了しました>

10月7日（土）午後1時から 日本福祉大学東京サテライト

雨森孝悦教授「途上国の社会開発と日本の地域再生一経験を
を活かし合うために」

雨森教授略歴：フィリピンのマイクロファイナンス機関 CARD の Development Institute 理事。
国立フィリピン大学訪問研究員、(財)とよなか国際交流協会事務局長を経て本学教授。前研究科長。
著書に、『テキストブック NPO 第2版』（2012）。「自立的セーフティネットとしてのマイクロ保険
—フィリピンの事例から」『福祉社会開発学』（2008）所収。研究テーマは、①非営利組織、社会的企業
の組織開発（OD）、②マイクロ保険、マイクロファイナンス、③教育開発。



12月2日（土）午後1時から AP 大阪駅前梅田1丁目地下1階D

斎藤千宏教授「インドを事例にガバナンスを考える。」

斎藤教授略歴：シャプラニール=市民による海外協力の会代表（1995-2001）

バングラディッシュで農村開発事業に従事、大阪YMCAを経て本学赴任。

右の写真は、インドスクーリングにて。著書に「NGO 変える南アジア」（1998）、「NGO 大国インド」（1997）。研究テーマは、社会開発における NGO や住民組織の果たす役割、先進国・途上国双方の NGO・NPO のマネジメント、とくに財政的自立の部分。



12月9日（土）午後1時から 日本福祉大学東京サテライト

小國和子准教授「開発援助のフィールドワーク～実践と研究が交差する
地点で～」

小國准教授略歴：国際社会開発研究科長。インドネシア・カンボジアにおける農村開発、農民組織支援などの国際開発協力事業に従事。また、戦後日本農村の生活改善経験の体系化と国際開発への応用、インドネシア農村における、農民のローカルな知恵を生かした、住民による農業用水管理等の研究にも関わる。著書に『村落開発支援は誰のためか（オンデマンド版）』（2006）、『支援のフィールドワーク』（共編 2011）、ほか。研究テーマは、①ローカルな観点に基づく農村社会開発。生活改善運動、②開発における人々の参加、③開発援助と文化人類学、④ファシリテーションとフィールドワーク。



◇各会場までのアクセスご案内

日本福祉大学東京サテライト：東京都港区新橋 6-9-6 12 東洋海事ビル 3 階。アクセスは、JR 東海道本線、山手線、京浜東北線、横須賀線新橋駅 烏森口から徒歩 7 分。（第一京浜国道沿い）

<http://www.n-fukushi.ac.jp/block/office/tokyo.html>



コンベンションルーム大阪駅前梅田 1 丁目地下 1 階Bルーム：

大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル地下 1F・2F(旧渡辺リクルートビル)

JR「大阪駅」中央南口より徒歩約 2 分

地下鉄御堂筋線「梅田駅」南改札より徒歩約 2 分。



本オープンセミナーは、予約なしで当日ご参加いただけますが、資料準備の関係で、メールにてご参加連絡をしていただくと幸いです。



日本福祉大学大学院 国際社会開発研究科
国際社会開発専攻 修士課程 (通信教育)

http://development-school.jp/d_school/
<https://www.facebook.com/nfuisd>

日本福祉大学 大学院事務室 〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35 TEL(052)242-3050 FAX(052)242-3072
ホームページ <http://www.n-fukushi.ac.jp/daigakuin.htm> E-mail: isdjim@ml.n-fukushi.ac.jp

